

Japan Contractors Association of  
Traffic Signs and Lane Markings

一般  
社団法人 全国道路標識・標示業東京都協会

# 会報 2011

2011/8月 vol.12

## contents

- はじめに

02
- 事務局・教育広報委員会

03
- 路面標示委員会

04
- 会員名簿

06
- 08
- 11
- 道路標識委員会
- 会員紹介

50

## 『いまやらねばいつできる わしがやらねばたれがやる』

一般社団法人 全国道路標識・標示業東京都協会 副会長 小林浩明

「東日本大震災」では、マグニチュード9.0の巨大地震が10メートルを超える(沿岸部は高さ30メートル超え)大津波、レベル7の原子力発電事故をも引き起こし、三重苦となって未曾有の被害・影響を及ぼしています。

被災地での人的・物的被害はもとより、地域社会の壊滅的な被害をまのあたりにして、日本中が一丸となって一日も早い復旧・復興を望んでいるものの、手に余るがれき処理、基幹産業の壊滅的被害、収束が見えない原発事故、不自由な避難生活など幾多の困難が横たわる中、壊滅した町や地域の復興は、相当の長期化を覚悟せざるを得ません。

日本政府も補正予算にて復興に最大の予算(人・物・金)を注ぎ込まれるものと思いますが、猛暑が予想される中での今夏の電力危機、放射能の風評被害、消費マインドの低迷による経済の停滞など、大震災の影響は依然として国民生活や国の経済に及んでいます。

こんな厳しい状況の中で東京都は、都民の生活と首都機能(東京の再生)を守りながら、同時に被災者・被災地を支援する「二正面作戦(緊急対策事業)」を打ち出しました。

日本の頭脳部・心臓部である東京の停滞は、被災地の復興の長期化や震災不況にもつながりかねません。現下の危機への迅速な対応はもとより、今後の更なる状況変化にもしっかりと備えるというものです。

緊急対策策定の指針に示されているように、①現に直面している危機に直ちに取り組む(支援・節電等)。②今後の事態に備え、予め手立てを講じておく(東京を停滞させない)。③将来を見据えた本格対策への準備を急ぐ(日本の首都東京を高度な防災都市へ)。の三つの視点を踏まえて、新たなビジョン「2020年の東京(仮称)」につなげていくものとしています。

この緊急対策(補正予算)は、今期我々業界を取り巻く核となることは間違ひありません。大きなキーワードとすべく社会貢献し、公共事業に携わる我々としても出来ることを精一杯協力することは使命であると考えます。



話は変わりますが、東京都から「第9次東京都交通安全計画」の策定が打ち出されました。

平成23年度から平成27年度までの五年間に渡り「交通事故の無い安全で安心な都市東京の実現」が主旨であり、平成27年までに都内の道路交通事故死者数が年間150人を下回ることを目指しています。

重点課題は、

- 高齢者の交通安全の確保(交通事故者の約4割が高齢者)
- 自転車の安全利用の推進(自転車・歩行者事故において自転車側に主な過失があった割合の増加)
- 二輪車事故の防止(全国に比べ、交通事故死者に占める二輪車事故死者の割合が高い)
- 飲酒運転の根絶(過失でなく飲酒という故意に基づく悪質性と事故の重大性がある)

の4点です。

交通事故は、被害者の生命や将来の可能性を一瞬にして奪うのみならず、その家族に対しても多大な精神的・経済的な負担や苦しみを強いるものです。

警視庁が推進している「交通事故連続減少～交通事故死者数チャレンジ・アンダー200～」にも積極的に協力し、環境に配慮した交通安全施設整備に一層努力していくことが我々の役割であり使命です。

また、社会資本も大型更新時代を迎え、当然のことながら標識・標示も適切な時期にメンテナンスが必要となり、調査・維持に関する企画提案(仕事創り)が不可欠です。継続事業の「観光立国の更なる推進」に対しての提案活動にも手を抜くことはできません。当協会の各委員会はそれぞれの事業計画に基づき非常に活発に活動しています。成功事例の多くを共有し、ポジティブな発想で、変化をチャンスに「未来志向」の発想で、皆が精力的に行動していく必要が重要だと思います。

ご存知の通り、(7／18の日本時間早朝)ドイツで開催された女子ワールドカップにおいて「なでしこジャパン」が金メダルを取りました。決勝戦ではアメリカの攻めを守り抜き、二度に渡っての先制を同点に追いつき、PK戦の末の見事な勝利でした。

「最後まで諦めない全員のプレー」忍耐力と精神力そして団結力には涙が止まりませんでした。日本全体に勇気をいただき、被災地の皆さんにも大きな希望をもたらしたと思います。

結びになりますが、勝ち残るために激動する環境変化を先取りした変革の実践と選ばれ続けるための在り方がこれからも重要であると言われますが、我々の業界においても自らの仕事を抜本的に変革し、新しい現実に対応していく必要があると思います。

日本の首都東京の交通安全施設を担う我々にはまだまだやらなければならない提案活動も山積しています。東京で仕事が出来る幸せを行動に移すことができるのが、当協会なのです。

標識設置管理士研修等で、大変お世話になっています富士教育訓練センターの玄関に『いまやらねば いつできる わしがやらねば たれがやる』という平櫛田中氏の額が飾ってあります。

どうかこんな意気込みで、当協会・当業界を発展させていきましょう。会員各位のご理解とご協力、益々のご発展を心より祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

# 活動報告

## 事務局・教育広報委員会

### 平成23年度上半期主要活動報告

#### 東日本大震災発生への対応

平成23年3月11日発生の東日本大震災による被災地の皆さまへ心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。当協会では3月15日に日本赤十字社を通じ義援金500,000円を拠出いたしました。

#### 平成23年度通常総会の開催

平成23年5月13日(金)第一ホテル東京にて67社90名の参加をいただき開催しました。

##### [議案]

- 第1号議案 平成22年度事業報告の承認を求める件
- 第2号議案 平成22年度収支決算報告を求める件
- 第3号議案 平成23年度事業計画(案)の承認を求める件
- 第4号議案 平成23年度収支予算(案)の承認を求める件

上記議案を審議し、原案通り承認可決されました。



平成23年度 通常総会

#### 平成23年度安全管理講習会の開催

平成23年5月16日(月)全国町村会館にて157名の参加をいただき開催しました。

○講師 東京都建設局道路管理部 安全施設課 施設計画係 内田 博之 係長  
警視庁交通部交通規制課 須賀主査

中川 警部補  
田村 副主査  
麻生 副主査

○特別講演「チャージアップ」講師 波登 かおり

※上記内容でPM2:00~4:00まで受講しました。



安全管理講習会

#### 職長・安全衛生責任者講習会の開催

平成23年6月27日(月)~28日(火)東京都トラック総合会館にて47名  
参加にて受講しました。

○講師 富士教育訓練センター 大平 延行



職長・安全衛生責任者講習会

#### 協会員入会のご案内

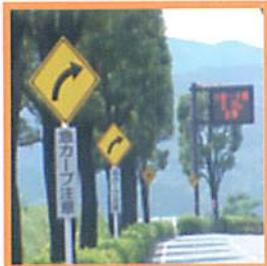
- 大道産業株式会社東京支店 (取締役支店長 岡部晴男)
- アイロードテック株式会社 (代表取締役 辻家和彦)
- 安全施設株式会社 (代表取締役 澤田 充)
- ケント産業株式会社 (代表取締役 大久保 宣)
- 株式会社コレスピンド光栄 東京営業所 (代表取締役 安武良祐)
- 株式会社星光商会 (代表取締役 薩川豊次)
- 株式会社日本都市 東京営業所 (代表取締役 大原俊弘)



## 活動報告

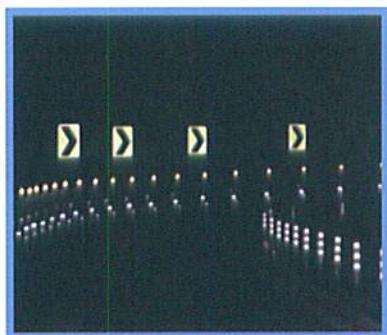
### 道路標識委員会

東日本大震災の影響で、照明灯の間引き点灯や減灯等の節電対策が求められています。そのため薄暮時から夜間にかけて交差点や道路形状が認識しづらく、重大な事故に繋がる恐れがあります。今号では、事故対策の一環として反射材を有効活用した注意喚起標識等の設置事例を紹介します。



#### カーブ・下り坂

カーブや下り坂等の見通しの悪い道路線形に対し矢印や斜線部分に反射シート等を貼り付ける事によりドライバーに注意を促す効果があります。



高輝度ライン



#### 中央分離帯・ノーズ部

車両の衝突や誤進入を防止する目的があり、蛍光反射材料等を使用することで視認性が向上し、ドライバーと歩行者の安全を確保する効果があります。

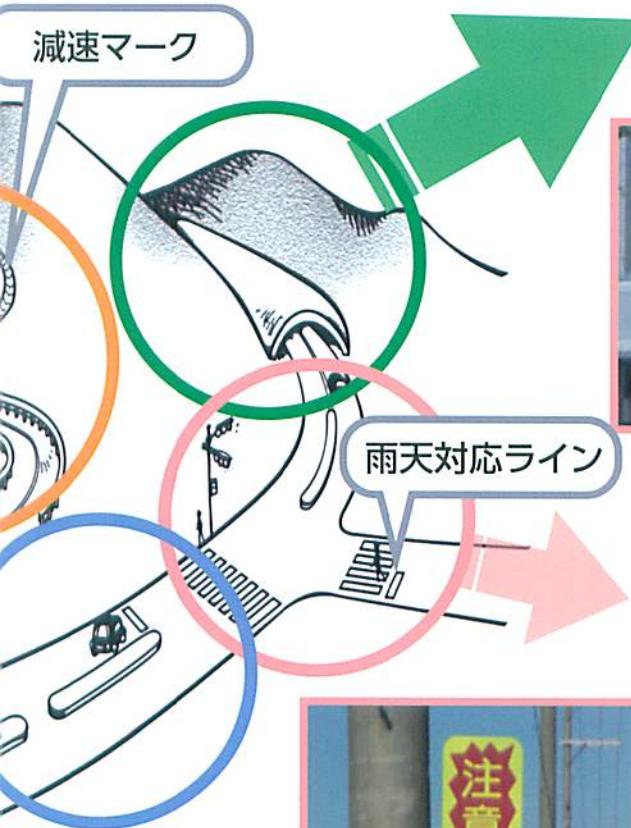


### トンネル内・トンネル坑口

暗く圧迫感のある空間の中で、反射材料等を使用することで道路線形を明瞭に誘導することが出来、事故抑制に効果があります。



減速マーク



**交差点部**

交差点の有無・形状をより早くドライバーに認識させることで速度の抑制・追突など、事故の発生を未然に防ぐ効果があります。







自転車は環境負荷の低い交通手段として見直され、健康志向の高まりを背景に、そのニーズが高まっています。その一方で自転車事故は増加傾向にあり、特に歩行者と自転車の交通事故が急増しています。自転車・歩行者の安全性を確保するためには、現在の利用環境の問題点を明らかにし、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる環境に見直していく必要があります。この状況を踏まえ、2008年(H20年)1月の自転車通行環境整備モデル地区の指定以降、歩行者、自転車、自動車の通行空間を適切に分離し、安全で快適な自転車走行空間を整備する取り組みが進められ、現在も継続的に行われています。

東京都内の取り組みとして次のようなものがあります。

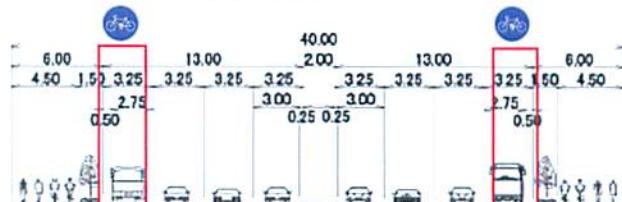
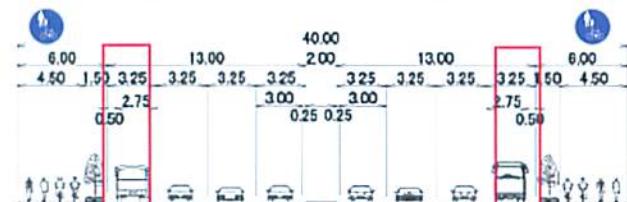
## ■概要

東京都江東区(亀戸地区)

- 路線名:国道14号
- 供用日:平成20年3月31日
- 整備延長:400m ※道路延長

## ■整備内容

- 車道の左端に幅員2mの自転車道を設置し、歩行者・自転車・自動車の通行空間を分離



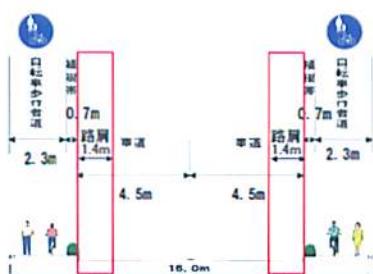
## ■概要

東京都渋谷区(幡ヶ谷地区)

- 路線名:特例都道各筈和泉線
- 供用日:平成20年3月31日
- 1200m ※道路延長

## ■整備内容

- 道路標識と道路標示を設置することにより、自転車専用通行帯の高越規制を実施





## 会員紹介

### アイロードテック 株式会社

所 在 地 〒121-0062 東京都足立区南花畠2-23-21

TEL/03-3850-6141 FAX/03-3859-3165

創 業 1973年(昭和48年)

資 本 金 1,000万円

事業内容 道路標示・道路標識・ガードレール・ガードパイプ・金網さく  
防球ネット・防音壁・遮音壁・トンネル内照板・一般塗装  
橋梁塗装・すべり止め塗装・看板・立体駐車場の販売施工

概 况 工事の安全と技術の向上で社会に貢献します。

### 安全施設 株式会社

所 在 地 〒134-0083 東京都江戸川区中葛西5-9-13

TEL/03-3688-3643 FAX/03-3688-3646

創 業 1973年(昭和48年)

資 本 金 1,000万円

事業内容 交通安全施設・道路付属物等 設計 施工 販売

概 况 小規模工事が中心ですが、皆様のお力添えを元に、今後とも  
交通安全に寄与して参りたいと思っております。



## ケント産業 株式会社

**所 在 地** 本 社 〒132-0022 東京都江戸川区大杉2-17-4  
大田営業所 〒145-0064 大田区上池台3-39-4  
世田谷営業所 〒158-0087 世田谷区玉堤1-18-38-101

TEL/03-5879-5270 FAX/03-5879-5271

**創 業** 1969年(昭和44年) **資 本 金** 1,000万円

**事業 内 容** 道路標識設置・道路標示塗装・ガードレール・すべり止め舗装

**概 况** 当社は江戸川区大杉を拠点とし、大田、世田谷区に営業所を置き都内を中心に業務を行っています。  
社会のニーズに応える様、今までの経験をもとにより一層の技術の向上に社員一丸となり取り組んでいます。

## 株式会社 コレスポンド光栄

**所 在 地** 本 社 〒816-0063 福岡市博多区金の隈二丁目22-5  
東京営業所 〒135-0004 江東区森下二丁目2番5号 森下ビル3F

TEL/092-503-8151 FAX/092-503-6077

**創 業** 1943年(昭和18年) **資 本 金** 1,000万円

**事業 内 容** NTT規格製品・移動通信帶金具・アンテナマスト金具・無線機取付金具  
道路標識柱の構造計算及び製作

**概 况** 当社は、昭和18年創業以来、時代のニーズにこたえるべき  
製品開発・生産に重点目標を於き、CSRを最優先にISO9001  
認証の基、夢・感謝・誠実・創造・責任の精神を遵守し、今後の  
交通安全に寄与しながら創造性豊かな社会の実現を目指してま  
いります。

今後とも、会員各社様のご指導、ご鞭撻のほど社員一同心から  
お願い申し上げます。



■本社・工場



■東京営業所





